



膝の痛みの原因となる

変形性膝関節症

治療法の紹介と工夫



整形外科部長

猿川 潤一郎
さるかわ じゅんいちろう

変形性膝関節症は膝関節の軟骨が年齢とともに摩耗し、膝屈伸や歩行に支障をきたす疾患です。初期症状は違和感や軽い痛みがある程度ですが、進行すると歩行や階段昇降、正座を行うときに膝関節に痛みが出るようになり、重症例では日常生活での動作が著しく制限されることがあります。

変形性膝関節症の治療には膝周囲の筋力強化を中心とした運動療法、痛み止め内服やヒアルロン酸の関節内注射などの薬物療法、足底板などの装具療法を用いた保存療法と骨切り術や人工膝関節置換術などの手術療法があります。

人工膝関節置換術は摩耗や変性をきたした膝関節内の軟骨や骨を人工の関節に置き換えることにより、痛みをなくすことを目的とした手術ですが、この手術は整形外科手術の中でも術後の疼痛（痛み）が比較的強い手術の一つとされています。術後

の疼痛コントロールがうまくいかないと、リハビリテーションが進まらず十分な膝関節機能の改善が得られず満足度を低下させることになります。そこで当院では術後疼痛を緩和させる目的で手術の直前に痛みを支配している膝周囲の神経に持続効果のある局所麻酔薬を注入する神経ブロックや、手術中に局所麻酔薬やステロイドなど複数の薬液を膝関節周囲に注入する関節周囲多剤カクテル注射という手法を用いて患者さんの術後の痛みを軽減させることで、治療に対する満足度向上につながる取り組みを行っています。

変形性膝関節症に対して患者さんに合った治療を提案いたしますので、膝の痛みでお困りの方はぜひ一度受診をご検討下さい。



3月11日は『家庭防災の日』

家庭の備えを確認しましょう

◎地域づくり応援課

TEL 0538-37-4751
FAX 0538-32-2353



磐田市自治会連合会では、「自らの命は自ら守る」「家族の命は家族が守る」という自助の意識を高めるため、3月11日を「家庭防災の日」と定めています。意識に勝る防災はありません。家庭にある磐田市防災ファイルや全戸配布している黄色のチラシを活用し、家族で話し合っ

災害時の連絡手段を考えよう

災害時は電話がつながりにくくなるため、連絡が取れない場合があります。災害時の安否確認には、災害用伝言ダイヤル「171」やSNS、LINEなどの手段があります。どのように連絡を取り合うか家族で話し合っておきましょう。

災害用伝言ダイヤル「171」

局番なしの「171」に電話し、安否などのメッセージを録音・再生できる無料サービスです。

地震ブレーカーを設置しよう

地震による火災原因の約6割は「通電火災」です。通電火災とは、停電から電気が復旧する際に発生する火災のことをいいます。地震時に設定以上の揺れを感知すると電気を自動的に止める「地震ブレーカー」の設置や、避難する前にブレーカーを落とすことで通電火災を防ぐことができます。

携帯トイレを備蓄しよう

災害時は、断水や下水設備の破損で水洗トイレが使用できない場合があります。トイレを我慢することで体調を崩さないために、携帯トイレを備蓄しましょう。



▲磐田市防災ファイルと全戸配布している黄色のチラシ